

たかのす

5月1日

No.455

昭和44年5月14日 第3種郵便物認可 (1部20円) 発行日 毎月1日・15日

ドライバーのみなさん
ボクたちを守つてね

風も心地よく吹きぬけ、日の光も強さを増しはじめた五月晴れ
のある日。

幼稚園から帰る園児たちは、心配顔のお母さん、気づかう先生
の温かいまなざしを受け、一日も早く集団生活にとけこもうと
懸命です。
ドライバーのみなさんもきをつけてね。



人口と世帯数

(住民基本台帳による)

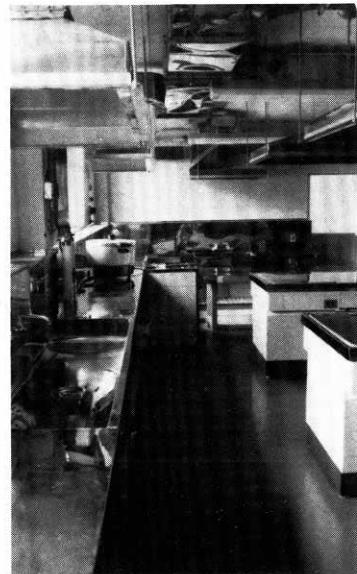
3月31日現在		(前月比)
総人口	25,432人	(160人減)
男	12,435人	(75人減)
女	12,997人	(85人減)
世帯数	7,114世帯	(36世帯減)



- *.....綾子地区のコミュニティづくりを推し進めるよりどころ、.....*
- *.....として、待望の綾子基幹集落センターが完成し、さる4月17日.....*
- *.....出川町長はじめ関係者およそ140名が出席して、喜びの竣工式.....*
- *.....を行いました。.....*

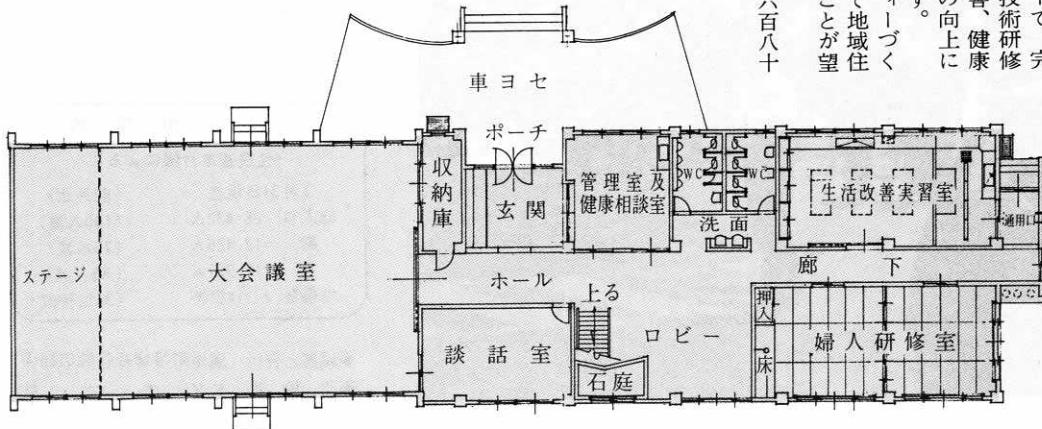
綾子地区に待望の 基幹集落センター「完成」

—コミュニティづくりのよりどころ—



◀ 調理実習台が3台と、カソツメ加工のできる近代的な調理実習室

▼ 一階平面図



六十三・三八平方メートル、小会議室二十四・九五平方メートルとスペースにゆとりがあり、内部設備もとのつています。

同センターは、七日市に次いで二番目の基幹集落センターで、完成によって農林業経営の技術研修や、後継者育成、生活改善、健康・福祉の充実、教育文化の向上に活用されることになります。

また、地域コミュニティづくりの「よりどころ」として地域住民に効果的に活用されることが望まれます。

なお、総事業費は一億六百八十万円、内訳は主体工事九千三百九十七万円、設計・工事雑費五千八万三千円でした。

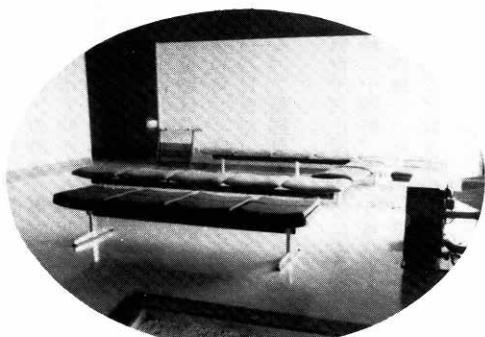
綾子下町の三千四百二十五・九一平方メートルの敷地に、鉄骨コンクリート造一部二階建、一部鉄骨平家建で、総床面積七百十三・一八平方メートルの綾子基幹集落センターが完成。

一階は、五百六十七平方メートルで、ステージ、机五十、椅子百五十脚を備付けている大会議室は二百一十四・二平方メートル。婦人研修室、健康相談室、談話室のほか、調理、カソツメ加工ができる生活改善実習室は五十七・五九平方メートルとなっています。

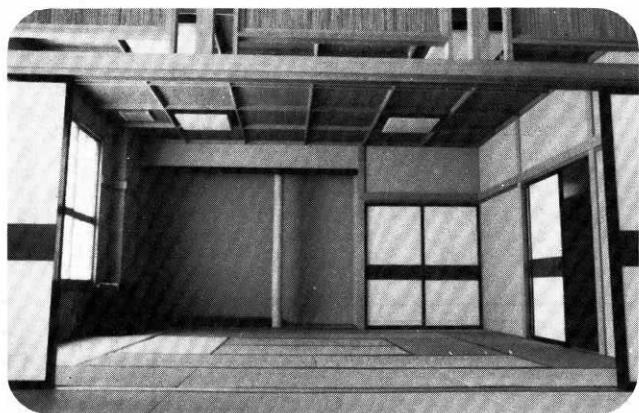
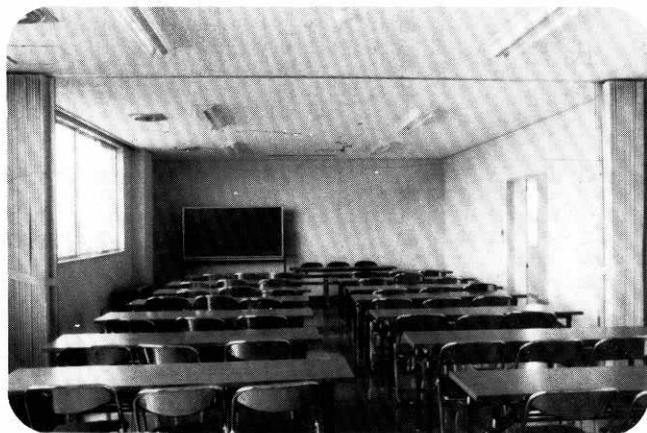
二階は、農林業経営技術研修室



◀ 基幹集落センターの全景



▲ 明るく広々としたロビー

▼ アコーディオン・ドアで中仕切り
ができる農林業経営技術研修室▲ 18畳間が2部屋とおしで利用でき
る和室の婦人研修室

▼ 二階平面図



綴子寿会長 佐藤重蔵(73)
センターが完成したので、こ
んなど集まる日を楽しみにしてい
る。広場ではゲートボールをや
つてみたい。

婦人会長 下町自治会長 藤島米松(65)
“部落自治は話し合いから”
をモットーにしているので、基
幹集落センターを有効に利用さ
せてもらいます。

婦人会長 花田 和(52)
自家菜園の野菜を主に、栄養
のバランスを考えた調理方法の
学習をしたい。カンヅメ加工で
保存食品も作りたい。

農協青年部長 佐藤正則(32)
これから日本の食糧は、私
たちの手で確保したい。そのた
めにもセンターで、経営技術を
高める研修会を数多く開きたい。
将来、部落の一員としてがん
ばっていくため、何でも貢献に
吸収したいので、センターを利
用して学習会など積極的に開い
ていきたい。

青年会長 村上幸儀(26)
将来、部落の一員としてがん
ばっていくため、何でも貢献に
吸収したいので、センターを利
用して学習会など積極的に開い
ていきたい。



いふに。なお当日は、印鑑を忘れな
いように。

提出が遅れたり、忘れたりしま
すと、年金の支払いが止められる
ことになりますから、ご注意くだ
さい。

提出の日程で都合の悪い
方は、五月二十一日から二十六日
まで必ずお届けください。

保険料免除の
手続きは早めに

国民年金の保険料は、一ヶ月四
千五百円ですが、失業や少収入な
どのため保険料納付が困難な方は、
申出によって保険料免除をされる
ことがあります。

区分	受給者数	受給年金額
障害年金(1級)	162人	78,548 千円
障害年金(2級)	99	35,068
母子・準母年金	37	23,156
遺児年金	7	2,628
寡婦年金	14	2,198
老齢年金	3,242	823,777
計	3,561	965,375

当町の五十六年一月現在の国民
年金受給状況は、次のとおりです。

- ▽ 障害年金
5月 11日～14日
- ▽ 母子年金・準母子年金
5月 15日～19日
- ▽ 遺児年金・寡婦年金
5月 19日～20日
- 今年も、国民年金の障害年金、
母子年金、準母子年金、遺児年金、
寡婦年金を受けている方(福祉年
金受給者を除く)の「現況届」を
提出する時期になりました。

「現況届」は、毎年五月に、受
給者本人や家族の状態に変更がな
いかを確認し、引き続き年金を受
けられるかどうか調べるものです。
もし、前記の日程で都合の悪い
方は、五月二十一日から二十六日
まで必ずお届けください。

「現況届」を 忘れずに



一年金受給権者現況届

ことがあります。
手続きを七月までに行い承認さ
れますと、今年の四月分から向
う一ヵ年分が免除期間とされます。
一方、保険料を滞納のままにす
ると、万一のときや障害者になっ
たとき、年金を受けられないこと
になります。申し出は、役場年金
係へ。

「あさひ団地」 分譲申込受付中

秋田県勤労者住宅生活協同組合
では、深閑地内(国道7号線沿い)
に公庫融資付住宅を第一期分とし
て十棟分譲いたします。

当町での説明会は、五月十六日、
午後四時まで鷹巣町中央公民館で
開きます。

▽ 住宅規模=全戸二階建(4DK
～6DK)

▽ 分譲価格=土地八十坪・住宅二
十二坪の場合は九百八十万円、
土地八十坪・住宅三十坪の場合
は一千九百九十万円程度。

※ 申し込み、くわしいお問い合わせ
は、秋田市中通六一七一四
福ビル四階・住宅生協(電話
秋田三三一八七二一)へ。

また、住宅設計は生協プランに
よりますが、五月中でしたら注文
方式で受付しています。



主婦の健康教室

スポーツ活動を通して、お互
いの親睦を深め、自らの健康と
体力づくりのため「主婦の健康
教室」を開きますので、多数の

参加をお待ちしています。

第12回 秋田県建具展

製作技術とデザインの向上をはかる第12回
秋田県建具展が、鷹巣町を会場にして開催さ
れます。

期 間 5月9日(土)～11日(日)
会 場 鷹巣町中央公民館
出 品 物 障子、フスマ、らんまん等

主 催 秋田県建具組合連合会
協 賛 秋田県・秋田営林局・鷹巣町

※ 参加ご希望の方は、五月九日
まで参加料を添えて鷹巣体育
館(電話一三八〇〇)へ申
じ込みください。近所の方を
お誘いのうえ、多数参加して
ください。

※ 運動のできる服装で室内用ズ
ック、あせふき等を持参して
ください。



春季子牛品評会開かれる

このほど、家畜市場で北秋田春季子牛品評会が開かれました。

生後8~10ヶ月の子牛のバランスとれた発育体形について審査するもので、春には珍らしく42頭が出品されました。

審査の結果、鷹巣町では三の渡の畠山佐一郎さんの「けいこ号」が1等賞一席になりました。

鷹巣町ロータリークラブ（会長間渕久藏）と、ことし42歳の厄払いをおえた人々（代表佐藤正孝）が、4月11日桜の苗木を中央公園に植えました。

ロータリー55本、42歳組53本、計108本を寄贈したので、公園と野球場間の道路の両側に7m間隔で植樹されました。

あと数年で花のトンネルをくぐれることでしょう。

中央公園を花のトンネルで



車からの「ポイ」すてやめて

綴子地区の青年会と農協婦人部の計170名が参加して4月12日朝5時から2時間にわたって道路沿いのクリーンアップが行われました。

鷹巣陸橋～糠沢間の国道105・7号線と、高野尻～糠沢間の町道のゴミが捨い集められました。

ゴミの量は、トラック6台分。ほとんどが空カンで心もとないドライバーが「ポイ」と捨てたものです。



鷹巣阿仁広域消防本部がこのほどまとめた、昨年一年間の救急業務報告によるところ、出動件数が666回で、病人、けが人663人を病院へ搬送し、日に2回くらい出動していることになります。

出動で多いのが急病で334人、次いで交通事故108人、一般負傷91人、以下転病搬送、労働災害、スポーツ傷害となっています。

救急車は1日に2回出動



公民館のうごき

実りつつある

地域文化

第七回坊沢公民館祭り

第七回坊沢公民館祭りは、去る三月二十九日坊沢公民館を会場に催されました。

この行事は、坊沢公民館ができるのを記念して開かれ、今年で七回目を迎えました。

「豊かな住みよい地域」をめざして、昭和五十年、当時の坊沢公民館長（佐藤政五郎氏）が「一年間の活動成果」を住民に披露したいとして始めてから一年も休むことなく現在まで引き継がれています。

広報たかのす



地域の文化祭

この公民館祭りは、町の文化祭のミニ版という形で、高令者から幼児まで、あらゆる階層から作品が出されます。

学級紹介

田中若妻学級 (あゆみの会)

学級結成以来、九年目を迎える若妻学級としては最古参の学級で会員二十五名。

若い母親という立場から、子どもを中心の家庭教育が学習の中心ですが、今まで部落祭典日の変更、通学路の危険個所の防止、ゴミ集積所の除雪、清掃なども手がけてきました。

職業の違いや、年齢差が意見の食い違いを生み、必らずしも平穏な八年間ではなかったようです。その度に一皆んなで作る、皆んなの学級だ」という原点に戻り、「解散」という危機をのりこえてきたとの事。

今年は、生活の合理化を基調とした手づくり料理の展示、若妻や婦人が公民館活動で学んだ各種の作品（生花、和洋裁、七宝焼等）展示、老人クラブの人達がつくったワラ細工、青年有志の絵画、それに幼児の書道、その他たくさんの作品が展示されました。また、今年初めて試みた食堂の開店、坊沢の歴史を物語る貴重な骨とう品など、観覧者の好評を得てきました。

それぞれの地区には、様々な問題があります。それを一つ一つ解決するために、皆んなで学習し、実行に移すことが大切です。その中から地域住民の連帯意識も高まり、豊かな住みよい地域づくりの土台がつつかわれると思います。

昨年の全町学習発表交流会で創作「おやじの海」を演ずるため、皆んなで苦労したことが、会員相互の信頼と連帯を深める良い機会であったし、忘れられない思い出の一つであったようです。又、四年前に、学級で森吉登山を計画した際、道に迷い家にたどり着いたのが夜中の十二時。それぞれ迎えに来た夫や、子どもにしがみついて、思わず泣いたのも、今にして思えば懐かしい出来事。

五代目新会長の三沢絹代さんは、「何んでも話し合える学級にしたい。そして地域のために若妻としてできることは積極的に協力したい。いずれにしても、芸達者な会員が多いので、ゆかいな学級です」とはりきっています。全町若妻二十三歳のリーダーとしてがんばってほしい。

地域の和づくり

郷土史年表

(30)

西暦	明治二十四年号	事項
一八九一		○県会議員に高橋武三郎（綾子）長岐貞治（七日市）当選す。
		○第一回郡会議員に成田良藏、成田儀八郎当選す。（鷹巣）
		○四月一日簡易科を廃し、坊沢小学校とす。（坊沢）
		○綾子大畠分教場を廃止し、糠沢分教場を設置す。（綾子）
		○二月十一日、秋田師範学校生徒六十一名、学校の指導方針に反対し同盟休校。
		○鷹巣、米村との組合を解除し、四月栄村独立、米村役場を摩当、福原勘右衛門宅に置く。米村初代村長、小坂保太郎就任す。
		○十一月、坊沢村役場を新築す。
		○秋田県より北海道への出稼ぎ数一万五千名をこえ、移住者三三〇戸、一〇八人を数える。
		○郡会議長に、高橋宇吉郎（綾子）推される。
		○三月、鷹巣村諸規定成る。
		○鷹巣郵便局を、郵便電信局と改称、外國為替、電信取扱を開始。
		○鷹巣は大館警察署管轄となる。
		○小学校令実施の際、鷹巣尋常高等小学校となる。（鷹巣）
		○綾子村長、高橋武三郎（四十二歳死）亡、四月、高橋宇吉郎当選（綾子）
		○四月一日、童森尋常小学校が七日市小学校より独立す。修業年限四ヵ年
		○十月一日、米尋常小学校が鷹巣小学校より独立す。

(続く)

文化祭に展示された色紙人形教室の作品



いたいものです。一生を通じて打ち込める目標なり、趣味なりをもつことは、きっとその人の人生を豊かにすることがあります。学びの輪を大きく広げ、豊かな心を結び合いましょう。一生を通じて打ち込める目標なり、趣味なりをもつことは、きっとその人の人生を豊かにすることがあります。学びの輪を大きく広げ、豊かな心を結び合いましょう。

四月十五日付けの広報で、中央公民館で行われる定期講座（七回、焼、家庭教育等十四講座）、および自主運営講座（華道、英語会話等十一講座）の講座生を募集しておりますが、この町には沢山の習団体、グループがあり、各々発な活動を開催しております。簡単に各団体を紹介致しますので、自らすんで、気軽に参加いたします。

学習団体・グループの紹介

みなさんの参加を 歓迎します



各団体・グループ	学習日・例会等・場所	連絡・申し込み先	各団体・グループ	学習日・例会等・場所	連絡・申し込み先
古典文学	毎月第2、4(金)午後1時30分より=中央公民館その他の会場	長崎佐太吉(2-1089)	鷹巣将棋クラブ	毎月20日午後7時より=鷹巣小学校	近藤与治助(2-2405)
鷹巣地方史研究会	研究会 年3回=中央公民館	松橋栄信(2-0191)	鷹巣町盆栽愛好会	日時不定	河田三之丞(2-0276)
鷹巣町読書会	毎月1回20日頃の曜日 午後7時より=図書館	長崎佐太吉(2-1089)	手話サークル「みずたまり」	毎週(木)午後7時より=中央公民館その他	山内みつ子(2-3990)
鷹巣短歌会	毎月第2(日)午後1時より=中央公民館	佐藤八千代(2-1421)	鷹巣ボランティア	毎月13日、第4(金)午後6時より=中央公民館その他	中林三千夫(6-2234)
湖音秋田短歌会	毎月第2(土)午後1時30分より=米内沢佐藤歯科医院	菊地みどり(2-4100)	婦人ボランティア	毎月第1(木)午後7時より=中央公民館	斎藤きせ子(2-1974)
鷹巣俳句会	毎月1回(日時不定)=中央公民館	五代儀幹雄(2-0316)	鷹巣混声合唱団	毎週(木)午後7時より=中央公民館その他	松尾昭利(2-2437)
鷹巣書道同好会	毎月6の付く日午後7時より=伊藤静夫宅(北小路)	伊藤静夫(2-2448)	鷹巣室内合奏団	毎週(金)午後7時より=中央公民館その他	松尾昭利(2-2437)
鷹巣絵画クラブ(油絵主体)	毎月第1(月・水)午後7時より=中央公民館その他	成田正宏(2-1130)	ニューハンマーズ(技能組合)	毎週(月)午後7時30分より=中央公民館その他	川村豊(2-0423)
孔友会(ガリ版)	毎月第2(日)午前9時より午後2時まで=場所不定	会田茂(7-2407)	鷹巣民謡三味線尺八研究会	毎週(火)午後2時と7時より=大栄商事2階	藤島茂治(2-0202)
鷹巣フォートグループ	研究会 年3回	千秋軒カメラ(2-0770)	鷹巣吟修会(詩吟)	毎月第1第3(土)午後1時より=中央公民館その他	小笠原吉郎(2-2532)
日本リアリズム写真集団鷹巣支部	年2回写真展 例会随時	村上信夫(2-9526)	演劇サークル	随時=中央公民館その他	藤島一(2-4620)
色紙人形教室	随时=成田明子宅	成田明子(2-0536)	社交ダンス教室	毎週(木)午後7時より=中央公民館その他	高橋穂(2-9836)
県北愛石会	展覧会年2回 探石会年1回	津谷佳男(2-1636)	フォークダンス協会	毎週(水)7時より=中央公民館その他	佐藤周治(2-0196)
囲碁同好会	毎週(日)午後2時より=鷹巣女子専門学校	成田達雄(2-1615)	鷹巣山岳会	毎月10日、25日=中央公民館その他	村上一美(2-2411)

55年度の活動

輝くに賞事知

鷹巣町連合青年会



地域課題の追求を!!

新年度は活動方針として「世界的経済不況と地域産業のきびしい前途を考えるとき、地域における青年の果すべき役割を自覚し、レクリエーションを中心から、学習を通して課題追求へと脱皮しなければいけない」とし、つぎのような事業計画を承認した。

長岐貞治

1

A black and white portrait of a man with dark hair, wearing a dark suit jacket, a white shirt, and a dark bow tie. He is looking slightly to his left.

彼は心から村民を愛した。毎年正月元日の朝、産土神社への初詣がすむと、本郷八十余戸を一軒残らず回り、一家のため祝

七日市の長岐家の宗家は、代肝煎をつとめてきた。早く父に死別した貞治は文久元年（一二八六）十三歳で親郷肝煎に就任、明治四年の廢藩置県で「肝煎」が「戸長」になり、二十二年には「村長」と名称が変わる。貞治は村長をつとめながら、郡会や県会の議員に当選、議長にもなる。更に、県畜産協議会会長として大活躍するが、明治三十七年、五十五歳の生涯を閉じるまで公私わかつたず村政発展に

福を述べて歩いた。また、よく朝早く部落をまわり、村人を激励し、ときには説論することもあった。

幼くして父を失った貞治であったが学問を好み、常に四書五経（儒学）をひもとき、新刊書を読み、自らの修養を怠らなかつた。彼はその驚くべき記憶力と聰明さを持ちながら常に嫌虚で他人の悪口を言わず、人に悪い思いをさせることができなかつた。

とした。村財政が窮乏し、教員の俸給不払いが続いた時、「俺が悪かった」と、財布の金を校長に手渡したことや、創設されたばかりの実業補習学校の設備充実に私財を投げるなど数々のエピソードが伝わっている。

産振興に貢献した功績をたたえる顕彰碑が秋田の県民会館のそばに建てられた。

今、七日市の長岐邸には孫のエイさん（七十八歳）が独り静かに暮している。

※資料「小猿部に光る」
（中央公民館長 長崎 久）

※資料「小猿部に光る」
(中央公民館長 長崎 久)

※資料「小猿部に光る」
(中央公民館長 長崎 久)



わたしのお母さん

わたしのおかあさんは、かんごふです。 よるおそくまで、びょういんではたらいでかえってきます。でも、わたしといっしょに、トランプやゲームをあそんでくれます。

西小学校2年
ながさき せつ子

わたしは、おかあさんいろいろおてつだいをしています。

選挙のために
綴子下町 大川幸夫(43)
先日沢 口農協の
理事選が
行われ九
十七、三
九%とい
う驚くべき投票率を示して終った
が、この数字は、有権者の関心の
高さを示すというより、立候補者
の運動量の大きさを示したものと
云えよう。

農協員選挙は、汚ない選挙の
代名詞となり、その浄化と明正化
が呼ばれて久しいが、何の法的規
則も罰則の適用も受けない同選挙
のあり方が、国、県、町が施行す
る各種公職選挙の明正化を妨げて
いるのは明らかだ。全ての候補で
はいえないにしても、自分の持て
るあらゆる武器を総動員して、昼夜
とわざ有権者に迫っているのが
実情だ。例えば商店店主であれば、
商品をタダ同然で有権者に渡すと
か、農作業を請負えば、低料金で
引き受け、特殊技能取得者であれば、
特別料金で顧客サービスする
という風に。そして何も提供する
物を持たないものは、実弾という
最終的手段に訴えて、投票を依頼
する。

私が選挙を考える場合、それを
一つの「参加」と捉え、その行為
が有権者として組織の企画・運営
管理に参画できる唯一の機会と思
う。

明正選挙の実現は、百年河
清を待たねばならないのか。その
明正度は、正にその国の文化水準
を測るパロメータだと思ってい
る。

みんなの店場



しらねあおい

山でこの花に出あうと
園芸植物かと思う。みご
とな紫花をしている。

(理科教育センター 阿部達雄先生)

広報のしおり

「端午」と
いうのは、

はじめという意味ですから、端午
といえば、月のはじめの午(うま)
の日ということになります。正月の
異称を端午といいます。

中国では、「五月は俗に悪月と
され、多く牀、薦席を曝すを禁忌
し、屋を蓋うを忌む」といって、
五月に屋根の修理などすると頭が
ついてしまうのです。

中国では、「五月は俗に悪月と
され、多く牀、薦席を曝すを禁忌
し、屋を蓋うを忌む」といって、
五月に屋根の修理などすると頭が
ついてしまうのです。

たかのす文芸

中学生になつて

鷹巣中学校一年 岩川 美樹子

中学生……

なんとなくピンとこない

中学生という気持ちが

まだ私にはないのだろうか

心配で不安な気持ち

勉強、部活動

なにか

不安にふりまわされる私の心

あの時……

あの時の気持ち

いつたいどこへ行つてしまつたのだろうか

消えてしまつたのだろうか

いいえ、きっとあるはず

私の希望の心が

